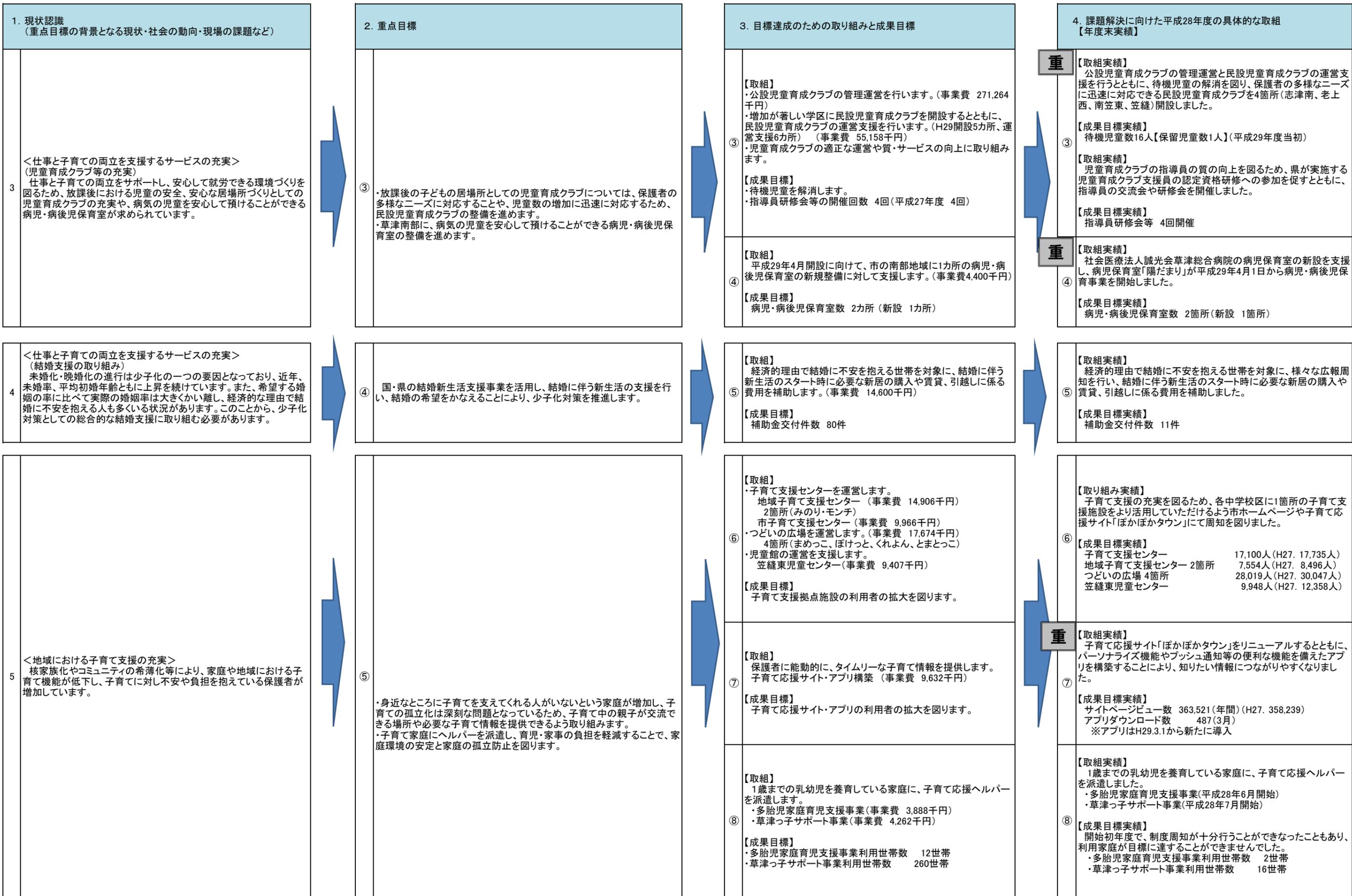


# 《平成28年度 子ども家庭部 組織目標の達成状況》

**重** 平成28年度予算重点施策に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた平成28年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

◆目標管理者  
部長 望月 英司

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取り組みと成果目標	4. 課題解決に向けた平成28年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>1</p> <p>〈仕事と子育ての両立を支援するサービスの充実〉 (就学前教育・保育の充実) 「子ども・子育て支援新制度」では、就学前の教育・保育の「質」の向上を求めています。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の質の向上のための研修事業の推進 保育の質の向上を図るために、保育所の職員等の研修の充実を図ります。</li> <li>・就学前教育サポート事業の推進 保育現場における特有の課題や問題について、臨床心理士や社会福祉士などの保育カウンセラーを活用し、就学前教育段階での適切なケアや保育環境の質の向上をめざします。また、保育者自身のスキルアップのための研修会を行います。</li> <li>・「草津市就学前教育・保育カリキュラム」の実施と検証 平成27年度に策定したカリキュラムを生かした、就学前教育・保育の実践に努めます。また、カリキュラムの「質」を高めるための実践研究や検証作業を行います。</li> <li>・草津市接続期カリキュラムの策定 円滑な小学校教育の移行や接続のための接続期カリキュラム(アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム)を策定します。</li> </ul>	<p>①</p> <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の質の向上のための研修を実施します。(事業費 540千円) 保育内容研修、人権研修、マネジメント研修会、健康研修、接遇研修等</li> <li>・就学前教育サポート事業を実施します。(事業費 940千円) 保育カウンセラーを活用した保育コンサルテーション、保育者のスキルアップ研修、保護者の子育て支援</li> <li>・就学前教育・保育カリキュラムの実践と検証を行います。 共通カリキュラムを生かした実践・検証、研究保育・園内研究会の開催</li> <li>・接続期カリキュラムの策定を行います。 アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの策定</li> </ul> <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者のスキルアップの研修回数 18回(平成27年度 16回)</li> <li>・カリキュラム検討会の開催回数 10回(平成27年度 10回)</li> <li>・接続期カリキュラムを策定します。</li> </ul>	<p>①</p> <p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の質の向上のための研修を実施しました。 人権保育研修2回、保育内容研修3回、健康安全・食育研修等7回、発達支援研修2回、人材育成研修1回 等</li> <li>・就学前教育サポート事業を実施しました。</li> <li>①保育コンサルテーション (保育所・こども園・幼稚園 16か所園 計124.5時間)</li> <li>②保育スキルアップ研修 5回</li> <li>・草津市就学前教育・保育検討委員会において、「言葉」を中心に就学前教育・保育カリキュラムの実践と検証を行い、平成28年度の実践資料集を作成しました。</li> <li>・草津市教育委員会と連携し、アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムを再検討し、「草津市接続期カリキュラム」を平成29年3月に策定しました。</li> </ul> <p>【成果目標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者のスキルアップの研修実施回数 20回 (指導研修…15回、サポート事業…5回)</li> <li>・カリキュラム検討会の開催回数 13回</li> <li>・草津市接続期カリキュラム 平成29年3月策定</li> </ul>
<p>2</p> <p>〈仕事と子育ての両立を支援するサービスの充実〉 (待機児童の解消) 「子ども・子育て支援新制度」では、支援の量の拡充を求めており、本市では、就学前児童の増加と保育需要の動向を把握しながら、私立認可保育所や小規模保育施設の整備等による保育定員増を図り、待機児童の解消をめざしています。 また、保育士や幼稚園教諭等の不足が顕在化しており、その安定的な確保が求められています。</p>	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童の解消 待機児童の解消に向けて、私立認定こども園や認可保育所、小規模保育施設の整備を推進するとともに、引き続き保育需要の推計を行い、その結果を踏まえ、必要な保育需要を充足する待機児童対策の検討、実施を行います。</li> <li>また、保育士等の安定的な確保に向けて、県による広域的な保育士確保策と連携を図りながら、保育士の再就職に向けた研修、処遇改善事業、広報周知等の取り組みを推進します。</li> </ul>	<p>②</p> <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模保育事業施設整備(2箇所創設)への補助を行います。 (事業費 38,500千円)</li> <li>・保育士確保対策として、私立認可保育所を対象に支援を行います。(事業費12,930千円)</li> <li>・保育士確保に向けて保育士再就職トライアル研修を実施します。(事業費 288千円)</li> </ul> <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童を解消します。</li> <li>・小規模保育事業 2施設創設 計38人定員 (平成29年4月開設)</li> </ul>	<p><b>重</b></p> <p>②</p> <p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模保育事業施設整備補助を行い、2施設・合計38人の定員増を実施しました。</li> <li>・保育士確保対策として、私立認可保育所を対象に支援を行いました。(事業費:5,352千円)</li> </ul> <p>【成果目標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年4月に待機児童ゼロを達成しました。</li> <li>・小規模保育施設(第二あおば南草津保育園、Pingu's English草津小規模保育施設)定員合計38人/H29.3完了</li> </ul>



1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)
6 <p>&lt;特別な配慮を要する家庭への支援&gt; (障害のある子どもへの支援) 発達支援センターとして、障害のある子どもとその保護者に対して、身近な地域における通所支援(療育)や地域支援が必要であり、障害児(者)が地域で安心して生活できるよう、ライフステージに応じた支援体制の充実が求められています。</p>

2. 重点目標
6 <ul style="list-style-type: none"> <li>・通所支援「湖の子園」として、発達に支援が必要な子どもに対して、早期療育を行い、保護者が安心して子育てできるように支援します。</li> <li>・地域支援として、障害のある子どもが在籍する保育所(園)等に、継続的に訪問して支援する保育所等訪問支援や福祉サービスの利用について障害児相談支援の充実を図ります。</li> <li>・保育所、幼稚園、学校、福祉、就労、医療等の関係機関と連携し、乳幼児期から小、中、高校、青年・成人期までの切れ目のない支援体制の充実に努めます。</li> <li>・これまでの発達相談と障害児相談支援(福祉サービスの利用)の情報を統合して、乳幼児期から成人期まで一貫した支援の充実を図ります。</li> </ul>

3. 目標達成のための取り組みと成果目標
9 <p>【取組】 子どもの発達や障害に応じた早期療育とその家族支援を行うために通所支援「湖の子園」を進めます。(事業費 49,550千円)</p> <p>【成果目標】 通所支援(湖の子園)利用者数 60人 (平成27年度 56人)</p>
10 <p>【取組】 障害児の継続的な支援を行うための保育所等訪問支援や、福祉サービス利用者の適切な支援を行うため障害児支援利用計画の作成を進めます。(事業費 2,648千円)</p> <p>【成果目標】 ・保育所等訪問支援の利用者数 10人(平成27年度 18人) ・障害児支援利用計画の作成対象者数 180人(平成27年度 167人)</p>
11 <p>【取組】 乳幼児期から成人期までの切れ目のない支援を行うため、保育所(園)等の巡回相談や5歳相談から、学齢期相談、成人期相談と将来にわたって関係機関と連携した継続的な相談支援を進めます。(事業費 11,283千円)</p> <p>【成果目標】 ・巡回相談の利用者数 50人(平成27年度 45人) ・5歳相談の利用者数 60人(平成27年度 57人) ・中学・高校以上の相談者数 160人(平成27年度 216人)</p>
12 <p>【取組】 障害児(者)の乳幼児期から成人期までの相談支援情報を一元化するため、新たな相談ソフトを導入します。(事業費 554千円)</p> <p>【成果目標】 平成28年度中に運用を開始します。</p>

4. 課題解決に向けた平成28年度の具体的な取組 【年度末実績】
9 <p>【取組実績】 ・プログラムの中にきょうだい児も参加できるものを組み込むことで、きょうだい児を含めた家族支援の充実を図り、後期に週一回の通園クラスを開設しました。 ・他機関との連携を図り、家族支援を行いました。</p> <p>【成果目標実績】 58名(6クラス)の子どもの受け入れを行いました。</p>
10 <p>【取組実績】 保育所等に在籍する障害児に対して、安心して集団生活を送れるように継続的に保育所等に訪問し、保育士や保護者の支援を行いました。また、児童福祉法上の障害児通所支援を希望する方に対して、適切にサービスを利用できるよう、障害児支援利用計画の作成等を行いました。</p> <p>【成果目標実績】 ・保育所等訪問支援 19人 ・障害児支援利用計画作成者数 179人 (児童発達支援 65人、医療型児童発達支援 4人、保育所等訪問支援 12人、放課後等デイサービス 98人)</p>
11 <p>【取組実績】 巡回相談や5歳相談を実施することで、早期支援やスムーズな就学への移行をはかりました。さらに、学齢期、成人期の相談支援を行い、乳幼児期から成人期まで切れ目のない支援に努めました。</p> <p>【成果目標実績】 ・巡回相談 107人 ・5歳相談 52人 ・中学・高校以上の相談者数 211人</p>
12 <p>【取組実績】 平成28年度中に入札を行い、機器選定を実施しました。</p> <p>【成果目標実績】 平成29年6月のリース契約導入に向け、準備を進めました。</p>

7
7 <p>&lt;特別な配慮を要する家庭への支援&gt; (児童虐待、こどもの貧困、ひとり親支援、児童手当) 核家族化や都市化等により、子どもと子育て家庭を取り巻く状況が変化し、子育てに不安や悩みを抱える家庭が増えています。近年増加傾向にある児童虐待への対応や、子育て家庭の生活の安定(経済的安定)、また、近年問題となってきた子どもの貧困について、特に高い貧困率であるひとり親家庭に対するの早急な支援が必要となっています。</p>

7
7 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童虐待に関し、子どもと家庭への適切な支援を行うため、相談体制の充実や関係機関との連携を図るとともにその防止に努めます。</li> <li>・就労支援や生活支援などにより、ひとり親家庭の生活の安定や自立につなげます。</li> <li>・子育て家庭の生活の安定および子どもの健やかな成長に資するため、経済的負担の軽減を図ります。</li> </ul>

13
13 <p>【取組】 児童虐待の防止のため、家庭児童相談体制の機能を充実します。また、関係機関との連携、啓発の強化や虐待予防のための講座開催に取り組みます。(事業費 27,343千円)</p> <p>【成果目標】 ・要保護児童対策地域協議会の開催回数 2回(平成27年度 2回) ・児童虐待防止の啓発および研修の実施 1回(平成27年度 1回) ・CAP研修の開催回数 10回(平成27年度 9回) ・子育て講座の実施回数 1回(平成27年度 2回) ・子育てサポーター(オレンジメイト)育成講座を実施します。 育成人数 20人</p>
14 <p>【取組】 母子・父子自立支援員による相談対応や支援制度の利用をすすめます。(事業費 5,779千円) ・ひとり親家庭の子どもを対象に、生活の向上を図るため、生活習慣の習得、学習支援、食の提供を行う「子どもの居場所」を設置します。(事業費 3,000千円)</p> <p>【成果目標】 「子どもの居場所」の数 1カ所</p>
15 <p>【取組】 児童手当・児童扶養手当等の支給を行います。 ・児童手当 2,511,535千円 ・児童扶養手当 368,279千円</p> <p>【成果目標】 対象者支給率 100%(平成27年度 100%)</p>

13
13 <p>【取組実績】 正規職員に社会福祉士資格を有する職員を配置し、家庭児童相談体制の充実を図るとともに、関係機関と連携し、児童虐待の対応と予防に努めました。</p> <p>【成果目標実績】 ・要保護児童対策地域協議会を開催しました。 代表者会議 8月と2月に開催 実務者会議 年6回実施 ・児童虐待防止の啓発 JR草津駅、南草津駅で街頭啓発を実施(11月1日) 児童虐待防止啓発研修会を開催(11月28日) ・CAP研修の開催回数 2回 ・子育て支援講座の開催(3月29日) ・子育てサポーター(オレンジメイト)育成講座の実施(受講者 19人)</p>
14 <p>【取組実績】 母子・父子自立支援員による相談対応や支援制度の利用をすすめました。 ・ひとり親家庭の中学生を対象に、生活の向上を図るため、生活習慣の習得、学習支援、食の提供を行う「子どもの居場所」を開設しました。</p> <p>【成果目標実績】 「子どもの居場所」1カ所開設(平成28年7月) 毎週木曜日 18:00~20:00 参加者数 13名</p>
15 <p>【取組実績】 児童手当・児童扶養手当等の支給を行いました。 ・児童手当 2,466,500千円 ・児童扶養手当 353,985千円</p> <p>【成果目標実績】 対象者 100%支給</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
8	<p>&lt;幼保一体化の推進&gt; 子ども・子育て支援新制度では、認定こども園の普及が推進されており、本市においても将来の児童数減少や就学前施設の適正配置を踏まえながら、保育所における待機児童の発生や幼稚園における定員割れ、3歳児の未就園層に対する幼児教育の提供等の本市の抱える課題を解決するために、子どもの視点に立った質の高い幼児教育と保育の一体的提供(幼保一体化)を推進することが求められています。</p>

9	<p>&lt;子ども・子育て支援事業計画の推進&gt; 平成27年度から平成31年度までの5年間を計画期間とする「子ども・子育て支援事業計画」を策定しており、重点的な取組事項において定める数値目標の達成に向けて、進捗管理を図る必要があります。</p>
---	---

2. 重点目標	
⑧	<p>「幼保一体化推進計画」に基づき、認定こども園(モデル園)の開園に向けて、施設整備等の開園準備を進めるとともに、市民や保護者への広報周知を行います。</p>
⑨	<p>・事業の実施状況および重点的な取組事項の数値目標について、進捗管理を行います。 ・心豊かでたくましく生き、未来をつくる草津の子ども、「草津っ子」の育みに向けて、各種事業を推進するとともに、シンポジウムの開催等により、「草津っ子」の普及、啓発を行います。</p>

⑩	<p>【取組】 ・(仮称)草津中央認定こども園の開園に向け、改修工事等を行います。(事業費 354,532千円) ・幼保一体化モデル園ワーキング部会におけるモデル園の検証・検討を行うとともに、研修等の実施、認定こども園園名等の選定を行います。(事業費1,185千円)</p> <p>【成果目標】 モデル園1園((仮称)草津中央認定こども園)を、平成29年4月に開園します。</p>
⑪	<p>【取組】 ・(仮称)大路認定こども園について、プロポーザル方式により民設民営事業者の募集を行います。 ・(仮称)志津認定こども園の整備に向けて工事実施設計業務を実施します。(事業費 19,956千円)</p> <p>【成果目標】 (仮称)大路認定こども園の事業者を決定します。</p>
⑫	<p>【取組】 ・子ども・子育て会議を開催し、子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行います。(事業費 743千円) ・「草津っ子」シンポジウムを開催します。(事業費 368千円)</p> <p>【成果目標】 ・子ども・子育て会議の開催回数 2回(平成27年度 2回) ・「草津っ子」シンポジウムの開催回数 1回(平成27年度 1回)</p>

3. 目標達成のための取り組みと成果目標	
⑬	<p>【取組実績】 ・(仮称)草津中央認定こども園の開園に向け、改修工事等を行いました。 ・幼保一体化モデル園ワーキング部会におけるモデル園の検証・検討を行うとともに、研修等の実施、認定こども園園名等の選定を行いました。</p> <p>【成果目標実績】 モデル園1園((仮称)草津中央認定こども園)の開園を、平成30年4月に延期しました。</p>
⑭	<p>【取組実績】 ・(仮称)大路認定こども園について、プロポーザル方式により民設民営事業者の募集、決定を行い、事業者との間で、認定こども園法に基づく公私連携協定を締結しました。 ・(仮称)志津認定こども園の整備に向けて工事実施設計業務を実施しました。</p> <p>【成果目標実績】 (仮称)大路認定こども園の事業者を決定しました。</p>
⑮	<p>【取組実績】 ・子ども・子育て会議を開催し、子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行いました。 ・「草津っ子」シンポジウムを開催しました。</p> <p>【成果目標実績】 平成29年2月にシンポジウムを開催しました。(参加者44人)</p>

4. 課題解決に向けた平成28年度の具体的な取組 【年度末実績】	
重	<p>【取組実績】 ・(仮称)草津中央認定こども園の開園に向け、改修工事等を行いました。 ・幼保一体化モデル園ワーキング部会におけるモデル園の検証・検討を行うとともに、研修等の実施、認定こども園園名等の選定を行いました。</p> <p>【成果目標実績】 モデル園1園((仮称)草津中央認定こども園)の開園を、平成30年4月に延期しました。</p>
重	<p>【取組実績】 ・(仮称)大路認定こども園について、プロポーザル方式により民設民営事業者の募集、決定を行い、事業者との間で、認定こども園法に基づく公私連携協定を締結しました。 ・(仮称)志津認定こども園の整備に向けて工事実施設計業務を実施しました。</p> <p>【成果目標実績】 (仮称)大路認定こども園の事業者を決定しました。</p>
重	<p>【取組実績】 ・子ども・子育て会議を開催し、子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行いました。 ・「草津っ子」シンポジウムを開催しました。</p> <p>【成果目標実績】 平成29年2月にシンポジウムを開催しました。(参加者44人)</p>